

アジア・ゲートウェイ構想（案）についてのコメント

平成19年5月10日

氏家 純一

アジア・ゲートウェイ構想を推進していくための必要なポイントは、本構想案の中に的確に盛り込まれている。特に最重要項目の一つに掲げられた金融資本市場のパートについては、私がこれまでの会合で申し上げてきた項目を含め、かなり踏み込んだ提言を行っており、賛意を表したい。

本構想の金融分野における最も重要な視点は、「我が国市場がアジアの金融センターとして、我が国を含むアジアの貯蓄をアジアの投資につなげる役割を果たし、アジアの成長に貢献し、我が国もアジアの成長を享受していくこと」と認識しているが、そうした視点から必要な政策課題を適切に抽出したものと評価している。

我が国市場の改革については、他の政策会議においても活発な議論がされているところであるが、国際競争力の維持・強化の観点から、ここに書かれている通り、短期間に集中的な施策を実施すべきである。政府のリーダーシップによる規制環境の整備に期待する一方、我々民間金融業者も魅力ある商品の開発を通じ、アジアへの投資促進を支援していきたい。

一方、アジアの金融資本市場育成に関しては、官民一体となって、アジア各国の市場・当局関係者への継続的な働きかけなど、地道な粘り強い努力が必要となる。ただし、民間企業がコミットしていくためには、ビジネスになることが必要であり、そのためにはEPA締結による外資規制の緩和をはじめとした政府主導の環境整備が不可欠であることを申し添えたい。

このほかにも、空港サービスの改善や我が国留学の魅力向上のための施策について、本構想案の他のパートでの提言に加え、この金融分野においても重要な施策として言及している点に大いに賛同する。我が国出張に要する時間コストの引き下げや海外からの優秀な人材獲得は、我が国の世界の金融センターとしての地位強化に不可欠である。

これらの施策を迅速に実施に移し、アジアの成長に貢献し、もって我が国も共に繁栄していくことが目指すべき方向性である。その実施にあたり、金融に身を置く者として、さまざまな知恵を出していくことにより、協力していきたいと考えている。

以上